

本会議質疑

西島昌和

問 荒廃農地再生事業について、再生事業内容と実績は

答 再生事業は、国が事業費の2分の1、県が4分の1、市が4分の1交付。実績は今年度7haの予定、昨年は4ha、地区は池新田、佐倉、高松、白羽の畑が主です。

います。実証できれば、今後中遠農林事務所との情報提供などを行い、検討を重ねます。

その他の質疑

・国民健康保険特別会計歳入歳出決算について

問 北部地域の茶農家は耕作放棄寸前の状況です。農家の多角経営を促す作物指導と樹園地の再生は



答 今後の多角経営につき、機械化が進まない斜面の茶園など、土壌に合う果樹などを模索して

望月ゆう子

問 灯台周辺整備の内容と今後の計画は

答 測量設計業務や防災対策を考慮した基本計画の策定業務を予定しています。今後は検討委員会やワーキング委員会等で検討を重ね、市のシンボリック

存在である灯台周辺の整備を進め、観光の振興を図り、平成25年度以降に整備着手できるように進めます。

その他の質疑
・社会福祉事業（福祉タクシー券助成事業補助費）について



柳澤重夫

問 市町海外セールス事業に200万円計上されているが、どのような事業か

答 この事業は富士山静岡空港を利用して海外からの観光客誘致を拡大する事業であり、県から助成金が交付される事業です。

問 東日本大震災の影響によって海外からの観光客は激減している。長期化すれば観光産業はじめ地域経済に与える影響は

答 主に韓国からの旅行者を回復するため、主要な旅行代理店の企画担当者を引き、観光コースの提案や観光説明会、商談会などを実施していきま



清水澄夫

問 植栽管理に費用がかかりすぎるから伐採してしまおうと聞いたが、理由は何か。切らなくても努力するべきでは

答 都市計画道路の歩道は、道路景観や通行車両の視覚誘導などを目的に植栽がされていますが、成長により歩行空間が狭小となり、歩行者が安心



池新田西部線

曾根正浩

問 行政改革推進委員会でどのような意見が出ていますか

答 補助金の整理・合理化及び民間委託の推進について、単に業務委託だけでなく、事務事業においても見直しをかけるなどの意見をいただきました。

若杉泰彦

問 広報研修センターについて、福祉課などが本庁舎も移転してすべ

答 各種の研修室としての利用を考えています。また、本庁舎の改修により大会議室が無くなったのでこちらでの利用を考えています。

問 農地集積補助金について、3年から10年までの借地期間が定められている。期間中の利用状況確認はどうするのか

答 借り手が認定農業者などなので審査時に確認が取れますが、取れないことも予想して今後検討します。

岡村 勝

問 公有自動車損害共済金の支払い請求を13件行ったと報告されているが、事故内容の説明を

答 12件の誤りでした。当方の過失10割の事故が2件、不注意による損傷が5件、不可抗力事故が5件です。

問 観光物産会館の整備改修を行ったが、情報発信基地としての成果と来館者数の報告を

答 1階展示ホールスペースを拡大した



観光物産会館

ので、展示会などに利用し、観光、産業の情報発信に一層努めます。来館者数は平成22年度1万7000人、本年4月から8月末まで約5,100人です。

杉浦謙二

問 商工業振興事業費中、商工会補助金3,000万円がありますが、商工会の今後をどのように考えるか

答 平成19年に合併し、振興事業に積極的に取り組み、大きな貢献をいただいています。現在2箇所の事務所にて事務を行っており、事務所の効率化や経費削減の面から事務所一本化が課題であり、努力をお願いしていきます。

その他の質疑

・財産管理費（市有財産管理事業）について



商工会御前崎事務所

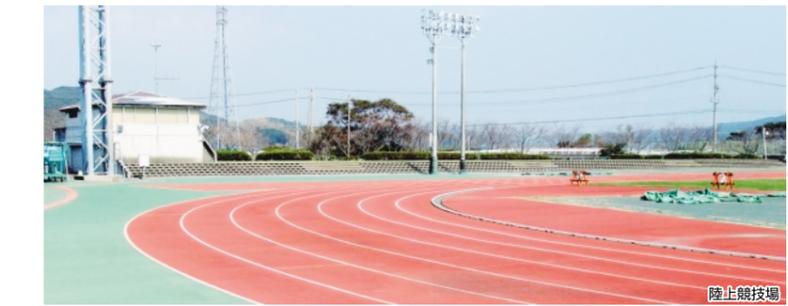
大澤 満

問 教育費中、振興公社運営事業の予算決算の比較で2,170万円余の不用額について

答 企画予定しました募集定員に満たなかったことで4企画しか実施できませんでした。また、制度改正など含め4名の職員が途中退職したなどです。今後は企画運営面に改善を図ります。

問 振興公社の目的は、市民の健康づくり、交流づくりなど大切な事業です。今後の確保が必要ではないか。また、施設管理費中、陸上競技場は

施工当初、予算の関係で7レーンしか確保されなかったようですが、本格的な記録会など短距離の周回レーンは予選決勝までは8レーンが必要ではないか



陸上競技場